

令和6年 第5回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和6年3月18日

仙北市教育委員会

## 令和6年 第5回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和6年3月18日（月） 午後2時00分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 農林研修室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	草薨 郁太郎
教育次長兼学校教育課長	福田 裕司
教育次長	松橋 幸太郎
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校適正配置準備室長	若松 正輝
学校適正配置準備室参事	毛利 俊介
北浦教育文化研究所長	門脇 貴一郎
総合給食センター所長	大石 基
生涯学習課長	武藤 寛幸
生涯学習課参事	小林 正人
中央公民館長	高倉 正人
田沢湖公民館長	佐藤 文恵
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	真崎 智明
平福記念美術館長	小松 亜希子

5 議事

(1) 議案審議

議案第15号 仙北市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定について  
議案第16号 財産の取得について

(2) 報告事項

報告第4号 仙北市議会一般質問について  
報告第5号 就学指定校変更の承認について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和6年第5回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から坂本教育長職務代理者を指名します。前回会議録の承認についてですが、定例会については田口委員、臨時会については細川委員、会議が終了次第署名をいただきたいと思います。

次に教育長挨拶ですけれども、本日私の方からは1点報告させていただきます。

学校の人事異動についてであります。2月29日に臨時教育委員会で内証いただいたところですが、講師の確保には大変難儀しております。講師そのものがおらず、仙北出張所管内に今誰も講師がいない状況です。先日ある小学校で講師が必要となる事案が生じましたが、誰もおらず講師を配置することができない状況でした。今現在、体の不調により休むことが決まっている先生の補充については付けることにしておりますが、今後は全く当てがえないようであります。福田次長や、仙北出張所山口副主幹が中心となって、講師の確保に向けて、今人探しをしているところですが、あらゆるネットワークを活用して、講師の確保に努めて参りたいと思います。また昨年この話をしましたが、大量退職者時代となり、ベテランの優秀な教員の退職により、学校力の低下が懸念されます。校長会では、どのようにして今の学校力を維持するかが大きな命題であると話しておりますが、組織力を活かした経営をするようお願いしております。分掌の工夫、小学校における専科の導入等様々な工夫をし、乗り切ってほしいとお願いしているところであります。マンパワーに頼らない学校経営の必要性を再度、校長会で確認していきたいと思います。

次に、教育長の報告についてです。

－資料により説明－

それでは、審議案件等に入ります。議案審議、議案第15号仙北市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定についてお願いします。

(福田教育次長兼学校教育課長)

議案綴1ページをご覧ください。議案第15号仙北市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定について提案するものです。内容につきましては、3ページの新旧対照表にて説明いたします。第5条第5号につきましては「勤勉手当は支給しない」との文言が追加になります。これはジェットプログラムにより、招致する外国青年に対する運用については、総務省通知により条例等を整備し対応するものとなっております。今回総務省通知により、勤勉手当は支給しないとなったことを受けて規則に明記したものです。

続いて、第26条第3項第1号中の「禁錮」を「拘禁刑」に改めることについては、今年度の国会で刑法等の一部を改正する法律等の改正により、懲役、禁錮を廃止し、拘禁刑を創設することを受けて改正となります。説明は以上となります。

(須田教育長)

ご質問等ありますか。

－質問・意見なし－

よろしいでしょうか。議案第15号は承認とします。

それでは、ここで追加議案の要請がありましたので審議いたします。議案第16号についてよろしく申し上げます。

(福田教育次長兼学校教育課長)

議案第16号財産の取得について、別紙のとおり提案するものです。本案件は本契約を締結するためには、仙北市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求める必要があることから、市議会最終日に追加提案するものです。教科書の定価が、令和6年2月27日付の官報で告知されたため、こ

このタイミングでの追加提案となります。ご審議の程よろしく申し上げます。以上です。  
(須田教育長)

議会初日に間に合わなかったということで、今回の追加提案ということですが、何かご質問ありますか。

－質問・意見なし－

よろしいでしょうか。議案第16号は承認とします。

それでは、次に報告事項に入ります。報告第4号仙北市議会一般質問について申し上げます。

(草薨教育部長)

私の方から説明させていただきます。議案綴の4ページをご覧ください。報告第4号仙北市議会一般質問について、令和6年第2回仙北市議会定例会の一般質問と答弁の概要を説明いたします。次のページをご覧ください。

中村和彦議員の質問です。最初に教育行政について、(1)公民館活動、若者が参加しやすい講座については、公民館は市民の身近な社会教育施設として、幸福度向上につながる「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」の実現に取り組んでいます。課題の一つに若い世代の参加率低迷があります。昨年度、若手職員が集まり、若者向け講座の検討を行い、様々なアイデアが出されました。これを受けて小学生や、高校生向けの講座などを開設しました。来年度は10代から20代をターゲットにした講座の拡充、SNSでの周知を取り入れ、新規利用者の拡大を図っていきます。

続きまして、(2)コミュニティスクールについては、コミュニティスクールが、地域住民や保護者等が学校運営に参画する「学校運営協議会」を設置した学校で、「地域とともにある学校づくり」を目指しています。今年度は、西明寺の2校、来年度は5校、再来年度は全ての学校で導入となる予定です。コミュニティスクールでは、年3回程度の「学校運営協議会」が行われますが、導入前より負担が大きく増えることはありません。これとは別に地域を巻き込んだ熟議が行われることもあります。地域の方々と話をして共感できる有意義な時間と捉えている教員が多いこともあり、コミュニティスクールの導入は、学校を応援してくれる地域住民の存在を感じながら、子どもたちの学びの充実を図ることができる教員の働き方改革としてメリットとなり、学校のみならず地域の活性化にもつながるものと考えております。

続きまして、(3)部活動指導員について、少子化が進む仙北市では、野球やバスケットボールなどは単独の中学校でチーム編成ができない状況にあり、教員の専門性の不足と過剰な労働時間が問題となっているため「部活動地域移行」が進められています。部活動指導員は部活動地域移行を実現するまでの一つの手段として、教員が担当する部活動の一部を担当するものです。現在、部活動指導員は、角館中、神代中、桧木内中に6名おりますが、来年度には全ての中学校に1名ずつ配置、角館中学校には2名の配置を計画しています。と答弁しています。

続きまして、田口寿宣議員の市民会館についてです。4億5,000万円の数字はどこから出てきたのか。に対しましては、市民会館は多くの設備が開館以来のものを使用しており、舞台にある緞帳は、安全面での懸念があり使用を中止している状況です。舞台吊物関係の改修計画として、舞台にある緞帳、絞り緞帳、暗転幕等々を全て電動化し、反響板装置を新たに設置、緞帳の補修、ダウンライトの改修、漏電の危険性解消作業も含めて4億5,000万円程の金額となります。

続きまして、ここに予算を掛けることができない理由は何か。には、緞帳を含めた設備の改修には、莫大な経費がかかるほか、工期が1年程かかるものもあり、改修する場合に

は、長期休館とならないように、安全性を確保でき、かつ効率的で費用対効果の高い改修計画とする必要があります。令和6年度当初予算に、国の「地域力創造アドバイザー」への委託経費を計上し、今後アドバイザーの支援もいただきながら、国の補助金、交付金、合併特例債以外の地方債も含めた財源も検討し、できるだけ早期に改修等に着手できるように検討を進めているところです。

市民会館の計画的な大規模改修が先ではないかと考えるがいかがか。では、市長が市民会館は、地域コミュニティの核として、今後長きに渡って維持していくべきと考えており、まずはあらゆる手立てを講じて、できる限り早期に改修等に取り組みます。一方、田沢湖庁舎の耐用年数を迎える2036年には、建て替え、改修など維持の手法について検討しなければならず、急速な人口減少に鑑みると、機能を集約した複合施設が望ましく、今からこれらの財源に目途を付ける必要があります。今を生きる市民の幸福度を護りつつ、将来を見通した計画を見定めることに全力で取り組みます。と答弁しています。概要の説明は以上です。

(須田教育長)

何かご質問ありますか。

－質問・意見なし－

よろしいでしょうか。それでは、報告第5号就学指定校変更の承認についてお願いします。

(福田次長兼学校教育課長)

報告第5号就学指定校変更の承認について、先に申請のあった就学指定校変更1件について、仙北市教育委員会として承認することとしたので報告いたします。以上です。

(須田教育長)

その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(門脇北浦教育文化研究所長)

初めに、2月のいじめの状況について報告をいたします。小学校4件、中学校0件です。

次に2月の不登校児童生徒についてです。小学生8名、中学生23名、計31名となっております。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(湯澤教育総務課長)

別冊の資料になりますけれども、令和6年第2回の定例会になります。

－資料にて説明－

誤字脱字等ありましたら、私の方まで教えてくださいようお願いします。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、学校適正配置準備室からの報告についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

学校適正配置準備室からは、今月7日、仙北市議会議員全員協議会が開催されましたので、その内容について報告いたします。この時の案件ですけれども、これまで教育委員会、学校適正配置検討委員会、また総合教育会議で検討を重ねてきた、学校適正配置計画の骨子案、そして昨年12月に行った保護者のアンケート結果報告、それから再編の試案について、この会でお示ししました。議員の皆様からの質問がありまして、主だったところを報告しますと、桜木内の小学6年生が、西明寺中学校に進学で流れていくという傾向がみられるので、令和8年度だと計画が遅いのではないか。もっと早くしたらどうか。統合したらどうかというご意見がありました。これに対しましては、児童生徒数の将来予測を踏

まえると、果たして2校統合でいいのかということがありますので、これは長期的な視点で全市的な議論が必要だという説明をいたしました。それから、地域ごとに意見を聞いて回るということだけでも、それぞれの地域で異なる意見だった場合には、話が進まなくなるのではないかとというような心配される質問がありました。私からは新年度はPTA連合会などの協力を得まして、地域の枠を超えた意見交換が必要だと思っている、行っていきたいと答弁をしております。学校の統合ということだけでなく、地域の再編、いわゆる学区の再編についても必要ではないかというご意見がありました。このことにつきまして、そういった学区の見直しも検討が必要と考えているということをご答弁しました。その他のご意見としましては、学校統合しても、地域と学校との関係が薄れないようにコミュニティスクールで関わっていける仕組み作りが重要であるというご意見。また、廃校となる地域については、非常に不安を感じているということで、不安を期待に変えられるように進めていってほしいというご意見。また、計画策定までに少し時間がかかるということですので、統合に向けた熱が冷めてしまうということもあるので、教育委員会の方で、リーダーシップを発揮して、引っ張る形で早く進めてほしいというご意見もあったところです。いくつかのご意見ありましたが、主な意見はこのようなものでした。報告は以上となります。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、令和6年度「仙北市の教育」についてお願いします。

(湯澤教育総務課長)

先月の定例会でお話しさせていただきましたけれども、令和6年度の「仙北市の教育」の冊子作成に向けまして、教育委員の皆様の方から何かご提案、ご意見等あれば教えていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

(須田教育長)

田口委員からお願いします。

(田口委員)

昨年度、要望しました事業に対する実績を分かる範囲であるいは載せられる範囲で、載せていただければ有難いという要望にもしっかりと対応していただいた内容ですので、非常に事業の進捗状況が、一目で分かるような内容になって大変良かったと思っております。特にこれ以上というところはないですけれども、もし検討いただけるのであればということで1、2点述べたいと思います。まず2ページ、教育の基本理念と書いてある中に、三つの柱があります。三つの柱の一つに「幼児教育の充実と学校教育との連携・接続」というところがありまして、教育長のこれまでの取り組みの中でも、この点が重視されていることがよく分かりますし、大事にされているということが、これまでの取り組みでも伝わってきますけれども、具体的には、例えば市の教育研究会にもたくさんの就学前の先生方が参加して下さって、一緒に授業参観にも参加して下さってますし、これは前になりますけれども、私の記憶では教育研究所の方で、特別支援の保育園の研修会には、講師としてアドバイザーが招聘されて、研修会と一緒に伺って接続について、就学前の特別支援教育についても、研修会を設けたりもしてそれに参加していると。あるいは子育て推進課の事業かどうか分かりませんが、合同の研修会を開いて、小学校の先生方、低学年の先生方と就学前の保育園・こども園の先生方との協議の会を設けたりもして、教育長も参加して下さったりして、非常に力を入れているのがよく分かります。折角そうしたところに3本の柱の一つとして重点を置いて取り組まれていくのですから、その内容が学校教育以降のページの中に、特に項目としてはないわけですが、何かそういった取り組みで、連携の事業も実際進められているという内容が、どこかに記述されていれば良い

のかなと感じました。ざっと見てみましたが、折角あるのにそういう記述がないのはもったいないなという気がしましたので、そこを検討してみただけだと思います。例えば、10ページの教育文化研究所の概要と主な取り組みの中の④番、その他の中に、就学前幼児教育との連携事業、予算はないのかも知れませんが、実際、研修事業にも参加しているわけですから、具体的な研修会の参加や合同研修というようなことで載せてくだされば、連携・接続の一つとして、こういうことが行われているということが伝わってくるのかなと感じたところでした。

もう1点は、ヤマメ・サクラマスプロジェクトについても、非常に分かりやすい紙面を作っていて、事業の内容もしっかりと伝えられています。今年度様々な取り組みが小・中学校でも行われて、実績も積まれて、着実に事業も進んでいるかと思いますが、どうかこの中に、令和5年度の実績というところで、具体的に各学校で行われた事例で結構ですので、全てをとすることは困難かと思いますが、実際にこういうことがあったということ載せていただければ、着実にこの事業が進捗していることが分かるかなと思いました。以上です。

(須田教育長)

門脇所長いいですね。では、橋本委員お願いします。

(橋本委員)

令和6年の教育行政方針で述べられている部分をできるだけ載せていただければ良いかと思います。その中で、国際理解教育の推進ということをごく一部の文章の中に入れていただければと感じました。以上です。

(須田教育長)

福田次長、門脇所長お願いします。坂本委員お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

私も、橋本委員と同じように、教育行政方針の中に、特に多様性の部分で非常に詳しく述べられていたと思います。その部分をもう少し令和5年度よりも膨らませた形で、取り組みを公開していただければありがたいと思います。また、ヤマメ・サクラマスプロジェクト、それからコミュニティスクールに関して、カラーのページを使っていて、非常に見やすくできていると思いますので、一部カラーというのはそのまま継続していただければと思います。あとは田口委員と重なるのですが、令和5年度の実績ということで私も考えておりました。6年生が、三つの企業に職場体験したこととか、市内の中学校2年生の企業説明会等の写真等を掲載して実績を報告しつつ、6年度の計画に入れていただければと思います。以上です。

(須田教育長)

細川委員お願いします。

(細川委員)

内容は本当によく取りまとめていただいて、分かりやすい内容だと思います。ヤマメ・サクラマスプロジェクトについても、今年度も期待できる内容ではないかと思います。以上です。

(須田教育長)

その他ありますか。

(湯澤教育総務課長)

4月の予定についてですけれども、先ほどの教育長の事務報告の資料をご覧ください。4月の定例会の日程ですが、第3木曜日ですと4月18日なのですが、18日、19日と教育長の東北都市教育長協議会が入っておりまして、1日前の4月17日(水)午後2時

から、定例会を開催できればと思っております。教育委員の皆様も日程のご確認をお願いしたいと思っております。あとは4月25日に、昨年と同様に角館中学校で「令和6年度教職員の集い」を開催予定となっております。こちらの方もご出席の方どうかよろしくお願いしたいと思います。以上です。

(須田教育長)

その他ありますか。

(若松学校適正配置準備室長)

適正配置から追加でご報告させていただきます。3月7日の市議会の全員協議会で、結果として計画の骨子案、それから再編試案についても了承いただいたものと理解しております。この会議を持ちまして、決定日、計画書に何月何日と記載するわけですけれども、3月18日ということで決定して、公開していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。4月1日の広報誌にも、骨子案がまとまりましたということのお知らせと、併せて学校再編試案、AからDまでの4案についても掲載をして市民の皆様にご覧いただき、また新年度たたき台として、議論を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

(小松平福記念美術館長)

美術館の小松です。昨年4月も行いました「O t oを楽しむ会」主催の樺細工で生まれ変わったピアノを使っのコンサートを4月13日(土)から29日(月)までの間で、7回公演しますので、時間がある時に聞きにいらしてください。よろしくお願いします。

(須田教育長)

よろしいですか。それでは、これで令和6年第5回仙北市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後2時30分)